

担当講座	内科学講座 消化器内科分野	問合せ先	消化器内科分野
分野責任者	松本 主之 教授	連絡先	内線6222
担当教員	松本 主之 教授 梁井 俊一 准教授 烏谷 洋右 講師 大泉 智史 助教 千葉 俊美 教授(歯学部 口腔医学講座)		
人材育成の 基本理念	消化器内科学に関する高度の知識・技能を有し、消化器病に関する基礎的および臨床的な研究能力を有する研究者を育成する。		
主な研究内容	消化器疾患（消化管疾患、胆膵疾患）に関する知識・技能を身につけるとともに消化器病に関する基礎的および臨床的な研究を行う。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	消化管癌、炎症性腸疾患、機能的消化器疾患の病態と画像所見を病理学的特徴と対比しながら理解する作業により、消化器疾患の診断・治療に関する知識を習得し、指導できるようになる。内科、小児科、外科、放射線科など連携し、消化器疾患の診断と治療における中心的立場となる。	2.8	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる	ベーシックセミナー	
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論	
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(4)解析結果をまとめ、発表できる（英文が望ましい）	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、消化器病学Ⅰ	
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー	
	(7)消化器疾患の病態・診断・治療を説明できる。	消化器病学2-7	
	(8)消化器疾患の診断・治療に必要な基本的技能を実践できる。	消化器病学2-7	
(9)臨床および基礎的研究デザインを立案できる。	消化器病学2-7		
資格取得等	内科認定医・専門医、胃腸科認定医、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医		
履修に関する 情報	社会人大学院生など、勤務で授業に出席出来ない場合には、日程などの調整を行うことも可能。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論（2単位）」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。		

## ●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考	
研究 特 論	1～4年	講義	消化器病学1	通年	60	8	20単位	※20単位以上の取得可	
		3年	講義	消化器病学2	通年	30			4
			講義	消化器病学3	通年	30			4
	1～4年	講義	消化器病学4	通年	30	4			
		講義	消化器病学5	通年	30	4			
		実習	消化器病学6	前期	15	1			
		実習	消化器病学7	通年	15	1			
特 別 研 究	2年		特別研究Ⅰ（初期審査）	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目	
	3年		特別研究Ⅱ（中間審査）	通年	8	1			
	4年		特別研究Ⅲ（論文作成）	通年	15	2			

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

消化器内科学

コード	MD14111010				MD14111020				MD14111030				MD14111040			
科目	消化器病学1				消化器病学2				消化器病学3				消化器病学4			
科目責任者	松本主之				梁井俊一				千葉俊美(口腔医学講座)				鳥谷洋右			
担当者	松本主之				梁井俊一				千葉俊美(口腔医学講座)				鳥谷洋右			
会場	病棟				消化器研究室				消化器研究室				消化器研究室			
区分等	区分	講義	単位	8	区分	講義	単位	4	区分	講義	単位	4	区分	講義	単位	4
	回数	通年60コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	3	回数	通年30コマ	配当年次	3	回数	通年30コマ	配当年次	1~4
主な授業内容	回診、臨床症候学				消化器内視鏡学（上部消化管）				消化器内視鏡学（下部消化管）				消化器診断学(消化管)			
教育成果	消化器症状の発生機序を学習することで鑑別疾患を列挙できるようになる。				上部消化管病変の内視鏡所見を熟知することで病理所見との対比を説明できるようになる。				下部消化管病変の内視鏡所見を学ことで病理所見との対比を説明できるようになる。				消化管病変のX線・内視鏡所見を対比しながら学び治療法を選択できるようになる。			
SBO	分野の達成目標 5				分野の達成目標 7,8,9				分野の達成目標 7,8,9				分野の達成目標 7,8,9			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学学生】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。															
評価方法	【2021年度以降の入学学生】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学学生】出席、レポートなどにより総合的に評価する。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

コード	MD14111050				MD14111060				MD14111070				MD14111010			
科目	消化器病学5				消化器病学6				消化器病学7				特別研究 I			
科目責任者	大泉智史				大泉智史				千葉俊美(口腔医学講座)				各(正)指導教員			
担当者	大泉智史				大泉智史				千葉俊美(口腔医学講座)				各指導教員			
会場	消化器研究室				内視鏡室、レントゲン室				内視鏡室				各指導教員と相談の上決定			
区分等	区分	講義	単位	4	区分	実習	単位	1	区分	実習	単位	1	区分	演習	単位	1
	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	前期15コマ	配当年次	1~4	回数	通年15コマ	配当年次	1~4	回数	通年8コマ	配当年次	2
主な授業内容	消化器診断学（胆膵）				消化器内視鏡学（胆・膵領域）				消化器内視鏡学（消化管）				・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画書の作成 ・初期審査の準備			
教育成果	胆膵疾患の画像所見を学ぶことで鑑別疾患を列挙できるようになる。				胆膵疾患の組織分類と臨床病期を学ぶことで治療法を選択できるようになる。				機能性消化管疾患の分類と診断基準を学ぶことで、治療法を選択できるようになる。				生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <初期審査> 2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。			
SBO	分野の達成目標 7,8,9				分野の達成目標 7,8,9				分野の達成目標 7,8,9				分野の達成目標 (3) (4) (5) (6)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学学生】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。				各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学学生】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。							
評価方法	【2021年度以降の入学学生】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学学生】出席、レポートなどにより総合的に評価する。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

●各科目の授業計画

コード	MD14119020				MD14119030							
科目	特別研究Ⅱ				特別研究Ⅲ							
科目責任者	各(正)指導教員				各(正)指導教員							
担当者	各指導教員				各指導教員							
会場	各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定							
区分等	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	2				
	回数	通年8コマ	配当年次	3	回数	通年15コマ	配当年次	4				
主な授業内容	・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備				・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備							
教育成果	生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 3年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成> 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。							
S B O 到達	分野の達成目標 (3) (4) (5) (6)				分野の達成目標 (3) (4) (5) (6)							
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。							
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。											
講義日程	時刻参照											
教科書 参考書												

## ●時間割

## 消化器内科学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						共通教育科目
2 限	10:30~12:00	消化器病学2			消化器病学4		
3 限	13:00~14:30	消化器病学3		消化器病学1			
4 限	14:40~16:10		消化器病学6		特別研究Ⅰ~Ⅲ	消化器病学7	消化器病学5
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						共通教育科目
2 限	10:30~12:00	消化器病学2			消化器病学4		
3 限	13:00~14:30	消化器病学3		消化器病学1			
4 限	14:40~16:10				特別研究Ⅰ~Ⅲ	消化器病学7	消化器病学5
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						